

公共事業再評価調書

整理番号 H15 - 10

担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9545
		E-MAIL	NOSONSEIBIKA @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (5年)	再評価後 (年)	その他 ()
---------	-----	-----------	----------	---------

1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県	市町村	その他 ()		
事業名	県営一般農道整備事業	地区名等	上吉田	市町村名	六戸町		
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国 50%	県 25%	市町村 25% その他 %		
採択年度	10年度 (用地着手 10年度 / 工事着手 12年度)						
終了予定年度	16年度 (年 月計画変更 当初計画時 14年度)						
事業目的	六戸町の南側に位置する畑作地帯を走る本農道は、農産物の流通の合理化を図るため、広域農道に接続する農道を整備し、併せて農村環境の改善に資するものである。						
主な内容	農道 L=1,120m						
事業費	採択時総事業費 210 百万円 (単位:百万円)						
		~12年度	13年度	14年度	15年度	小計	16年度~ 合計
	計画 (うち用地費) 年月変更	60 (22)	33 (1)	40 (5)	50 (0)	183 (28)	30 (0) 213 (28)
	実績 (うち用地費)	60 (22)	33 (1)	40 (5)	50 (0)	183 (28)	30 (0) 213 (28)

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			85.9% [/]	100% [/]
			(100%) [/]	(100%) [/]
	主要工種毎割合 (事業費)	路盤工 (130百万円)	(延長割合) 100%	(延長割合) 100%
	舗装工 (30百万円)	(延長割合) 2%	(延長割合) 100%	
		%	%	
説明	平成15年度で路盤工を終え、平成16年度に舗装工1,100mを残すだけとなり、計画どおりに進捗している。			
問題点・解決見込み				
事業効果発現状況	路盤工の完了により、通行が可能となった区間から供用を開始しており、既に事業効果の一部を発現している。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	【全国の評価】 農道整備については、農産物流通の合理化や農業の近代化を図り、併せて農村環境の改善に資することを目的としていることから、地域の特性を踏まえ農村環境との調和に配慮しながら、地域の中で重要度の高いものから順次整備していくことが必要である。	【県内の評価】 県内の農道舗装率は全国に比べて低い状況にあることから、地域農家の要望を反映させながら、引き続き計画的に事業を推進する必要がある。
	当地区における評価	六戸町は、県内でも有数の野菜産地「ベジタランド六戸」を目指し、第二次総合振興計画を策定しているほか、六戸町農協では、昭和49年に野菜集出荷所、昭和56年に野菜予冷库、昭和61年に農産物処理加工センターを設置し、産地形成と高い収益を目指していることから、流通の合理化と農作業の効率化を図る農道の整備が必要である。	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 本地区は、ながいも、にんじん、ばれいしょ、だいこんなどの野菜を作付けしていることから、幅員が狭小で、砂利道の本路線を改良することにより、荷傷み被害の防止及び維持管理経費が節減できる。 六戸町の農道舗装率が低いので、農道整備が急務となっている。 		(a) ・ b
適時性	<ul style="list-style-type: none"> 広域農道の一部が供用開始しており、畑と農業用施設を結ぶ本農道の開通が待ち望まれている。 		(a) ・ b
地元の推進体制等	事業の施行に当たった受益者の同意率が、96.9% (95人/98人) となっており、地元関係者からは早期完成が望まれている。		(a) ・ b
効率性			

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 農道工	166 百万円	160 百万円	6 百万円
	(2) その他経費	55 百万円	64 百万円	9 百万円
		百万円	百万円	0 百万円
		百万円	百万円	0 百万円
	総費用	221 百万円	224 百万円	3 百万円
便益項目 (B)	(1) 品質向上	141 百万円	108 百万円	33 百万円
	(2) 維持管理節減	17 百万円	14 百万円	3 百万円
	(3) 走行費節減	78 百万円	85 百万円	7 百万円
	(4) 一般交通等経費節減	2 百万円	27 百万円	25 百万円
	(5) その他	5 百万円	5 百万円	0 百万円
総便益	243 百万円	239 百万円	4 百万円	
B / C		1.10	1.07	
【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等) 農林水産省構造改善局長通達 (土地改良事業における経済効果の測定方法) 【費用対効果分析における特記事項】 品質向上効果 (荷傷み防止) において野菜の価格が、再評価時に下がったことから、B / Cは少し低くなったものの同水準にある。				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・再生砕石を活用して、コスト縮減に努めている。	(a) . b
代替案	【代替案の検討状況】 現計画路線延長のうち、700m (62%) は、既設農道を拡幅することにして、新設に比べ用地費を節約できるなどのメリットがあり妥当である。	(a) . b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 受益者の同意率は96.9% (95人/98人) となっている。また、事業の実施に当たっては、地元関係者に対して説明会を開催するなど、合意形成を図りながら進めている。	【住民ニーズ・意見】 農道から畑へ農耕車が容易に出入りできるように進入路の位置、形状について、農家のニーズを踏まえ、調整し理解を得て施工している。	(a) . b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1) 地域区分 <input type="text" value="K7e"/> (2) 対応状況 <input type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 <input type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない	(a) . b
地域の立地特性	【特記事項】 切土部及び盛土部の法面を緑化し、自然環境に配慮している。		
	本事業計画の対象作物であるにんじん、ばれいしょは、野菜指定産地となっている。		

3 対応方針

総合評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	本事業は、地域農業の振興や農村の生活環境の整備など地域に果たす役割が大きいことから、平成16年度の完了を目指し、継続して実施する。			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見				
評価理由				